

# CDIによる医療情報連携の キーポイント

安藤 裕

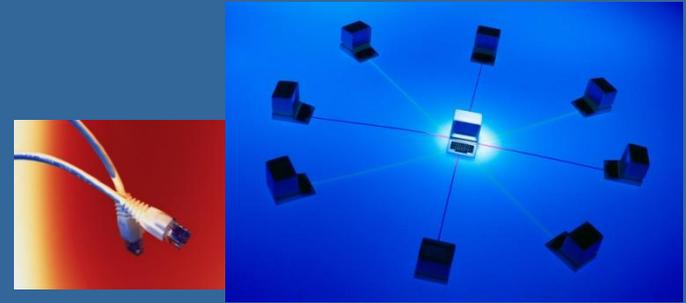
日本IHE協会 代表理事  
(放射線医学総合研究所)



# 医療情報連携の方法

- オンライン  
ネットワーク経由

IHE-XDS (Cross-Enterprise Document Sharing)



- オフライン  
媒体経由

IHE-PDI (Portable Data for Imaging)



# CDによる画像の連携

—放射線医学総合研究所の場合—

# 診療相談のホームページ

独立行政法人 放射線医学総合研究所  
重粒子医科学センター病院

文字のサイズ変更

[ごあいさつ](#)

[病院の概要](#)

[交通のご案内](#)

[お問い合わせ](#)

[よくあるご質問](#)

[サイトマップ](#)

## 重粒子線治療をお受けになりたい方へ

 [ホームページへ](#)

[ホームページ](#) > [重粒子線治療をお受けになりたい方へ](#) >

### 診療相談について

#### 1) 診療相談日

医師対応による相談日は月曜日と木曜日で、時間は午前8:30～11:00です。  
事前に外来へ連絡し、予約して下さい(043-206-3311)。

#### 2) 診療相談時に必要なもの

かかりつけのお医者さんの紹介状

- 症状の分かる資料、たとえばX線、CT、MRI等の診断画像のCD-ROM (DICOMフォーマット)もしくはフィルム等、血液検査結果等

• 健康保険証

- 紹介状・資料がない場合、及び患者様本人が来院しない場合は、自由診療費として10,500円必要となります。

3) 相談医は、都合により変更になる場合があります。



原則、画像は  
CDで持参

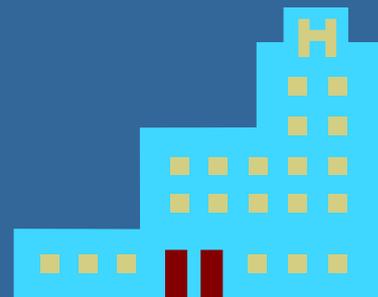
# CD-Rによる画像連携



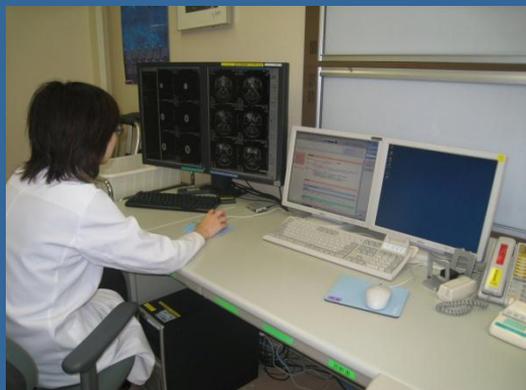
依頼元の  
医用機関



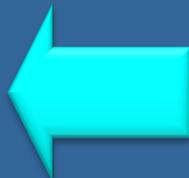
CD



放医研



外来／病棟



PACSサーバ



データの読み込み

# 運用上の問題点

## ● 媒体に情報を記録する場合

- キー画像をどのように選択するか、また、誰が選択して、データを書き込むのは誰が行うか。

## ● 媒体を運搬する場合

- その媒体を紛失したり、破損したりした場合、どのような対策をたてるか。

## ● 媒体から情報を読み出す場合

- ウイルスのチェックや記録されている患者の取り違え、PACSサーバに転送する方法、データが読み出せない場合の対応策。

# 画像読み込みワークフロー

番号	場所	操作者	操作内容
1	受付	事務員	患者基本情報(氏名、生年月日、性別、カルテ番号など)を登録する。
2	放射線科受付	放射線科事務員	持ち込んだCDを読み込み、患者氏名を確認し、患者IDを手入力により当院のIDに変更し、モダリティーをOTとして、PACSサーバへ転送する。
3	診察室	医師	PACSに保存されている画像を選択し、DICOM Viewerに表示して、診療を行う。

# 問題点

- DICOM以外の画像 (JPEGなど)
- DICOMの不正なタグ
- DVDによる膨大な画像 (1,000枚以上)
- 患者IDの誤入力
- 読み取りに時間がかかり、診察に間に合わない
- ポリシー上、CDによる連携を拒否する医療機関
- 自病院の画像を取り込んでしまう

# 問題点を解決するために

1. 標準規格を利用する→IHE
2. 運用面を整備する



# IHE (Integrating the Healthcare Enterprise) とは？

- IHEは、既存の規格や技術を利用して、効率的な医療情報システムを構築する。
- 既存の標準規格
  - 放射線科領域の情報システム（放射線情報システムやPACS）では、DICOM規格
  - 病院情報システムと放射線科領域の情報システムの接続には、HL7の規格
- これらの規格を使用して、実装の詳細を定めているのが、IHEの業務シナリオである。

# IHEの提案する 業務シナリオ(Workflow)

CDによる画像連携に関して

- ① PDI (Portable Data for Imaging)
- ② IRWF (Import Reconciliation Workflow)

# 業務シナリオ

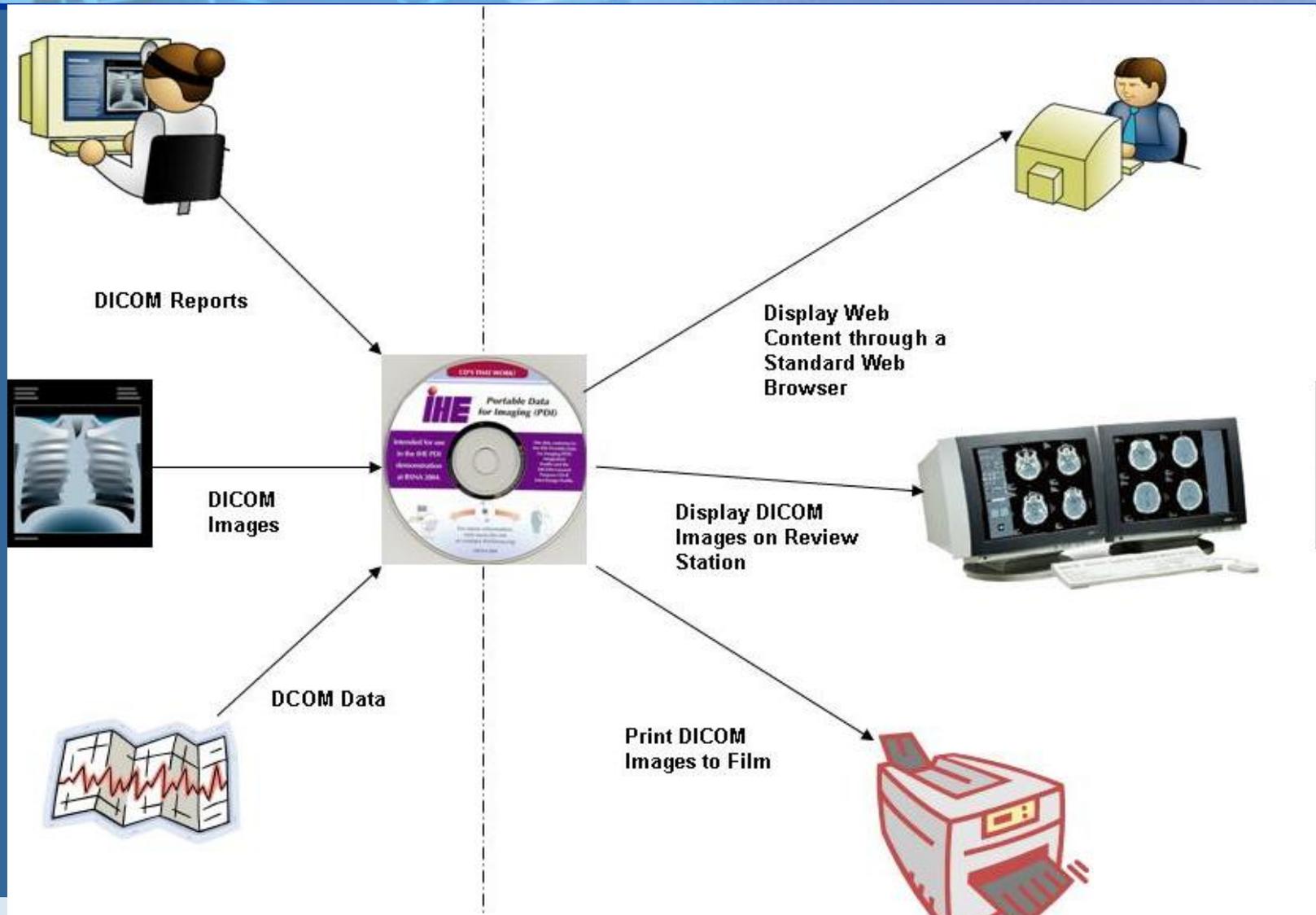
## ● CDによる施設間情報連携(PDI)

- DICOM規格のCDを用いて、施設間連携する場合のシナリオを定めている。
- 画像・報告書の書き込みやデータの読み出しなどを想定している

## ● 情報登録の整合性確保(IRWF)

- データを自施設のサーバに転送する場合の患者基本情報の書き換えと進捗管理の業務シナリオ

# Portable Data for Imaging: PDI



# Portable Data for Imaging

2005.11

## RSNAにおけるPDIのデモ

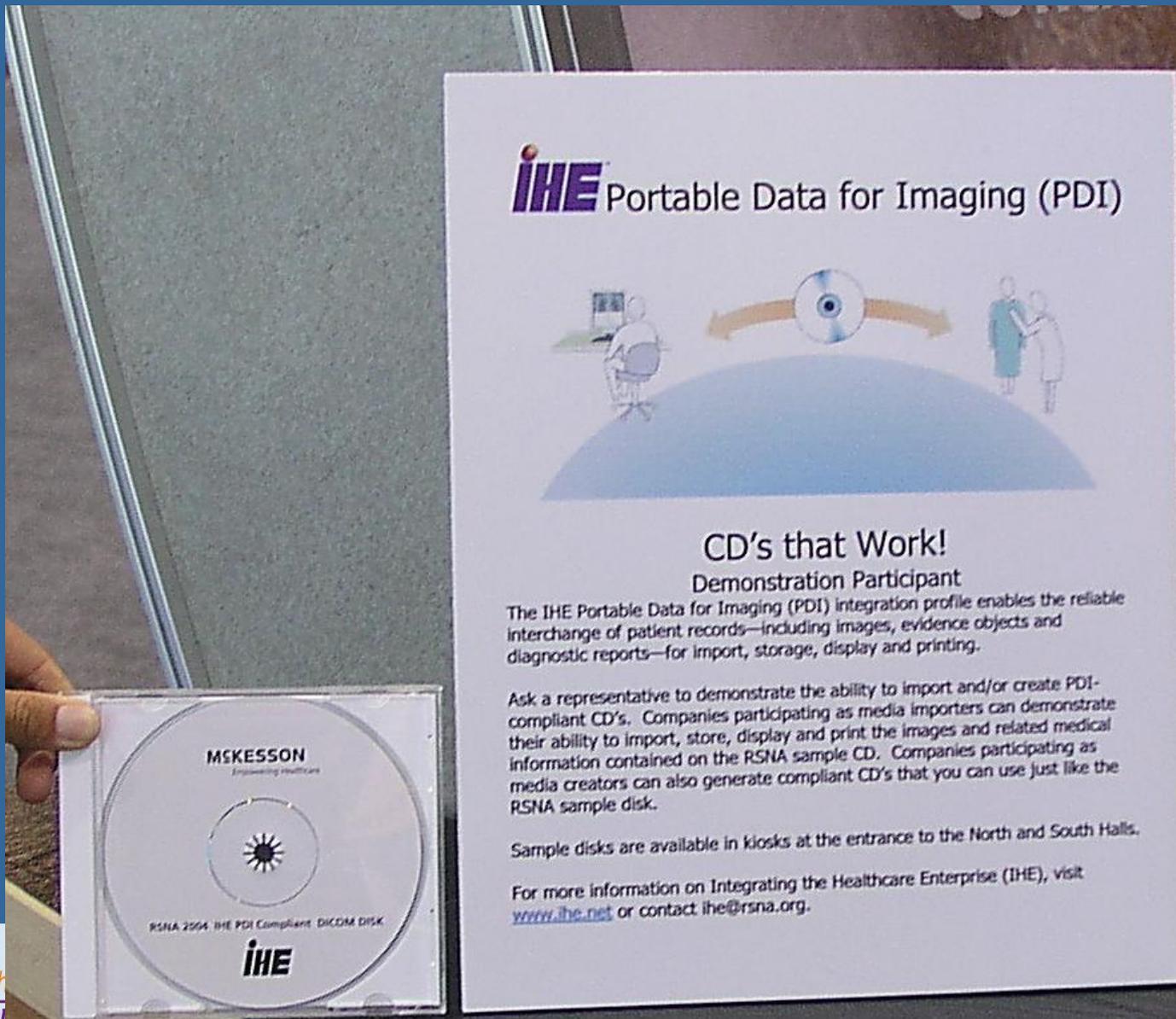


# IHE Demonstration RSNA 北米放射線学会 2005.11



# PDI

## Portable Data for Imaging



**iHE** Portable Data for Imaging (PDI)



**CD's that Work!**  
Demonstration Participant

The IHE Portable Data for Imaging (PDI) integration profile enables the reliable interchange of patient records—including images, evidence objects and diagnostic reports—for import, storage, display and printing.

Ask a representative to demonstrate the ability to import and/or create PDI-compliant CD's. Companies participating as media importers can demonstrate their ability to import, store, display and print the images and related medical information contained on the RSNA sample CD. Companies participating as media creators can also generate compliant CD's that you can use just like the RSNA sample disk.

Sample disks are available in kiosks at the entrance to the North and South Halls.

For more information on Integrating the Healthcare Enterprise (IHE), visit [www.ihe.net](http://www.ihe.net) or contact [ihe@rsna.org](mailto:ihe@rsna.org).



# Siemens



# GE





# Kodak





# IHE-CDs

# Import Reconciliation Workflow Profile: IRWF

- 他施設から持ち込まれた可搬媒体（CD, フィルムなど）内のデータを、自施設のシステムにインポート（取り込み）する。
  - CDやFilmから画像を取り込む時。
  - インポート後、患者情報やオーダ関連情報を（必要に応じ）書き換え、自施設内で運用できるようにする。
  - 変更されたオリジナルの情報は保持される。

# 画像取り込みの業務フロー



可搬媒体の画像を取り込む

- 取込み依頼
- CD・フィルム



属性情報を修正する

- 患者情報
- 検査情報

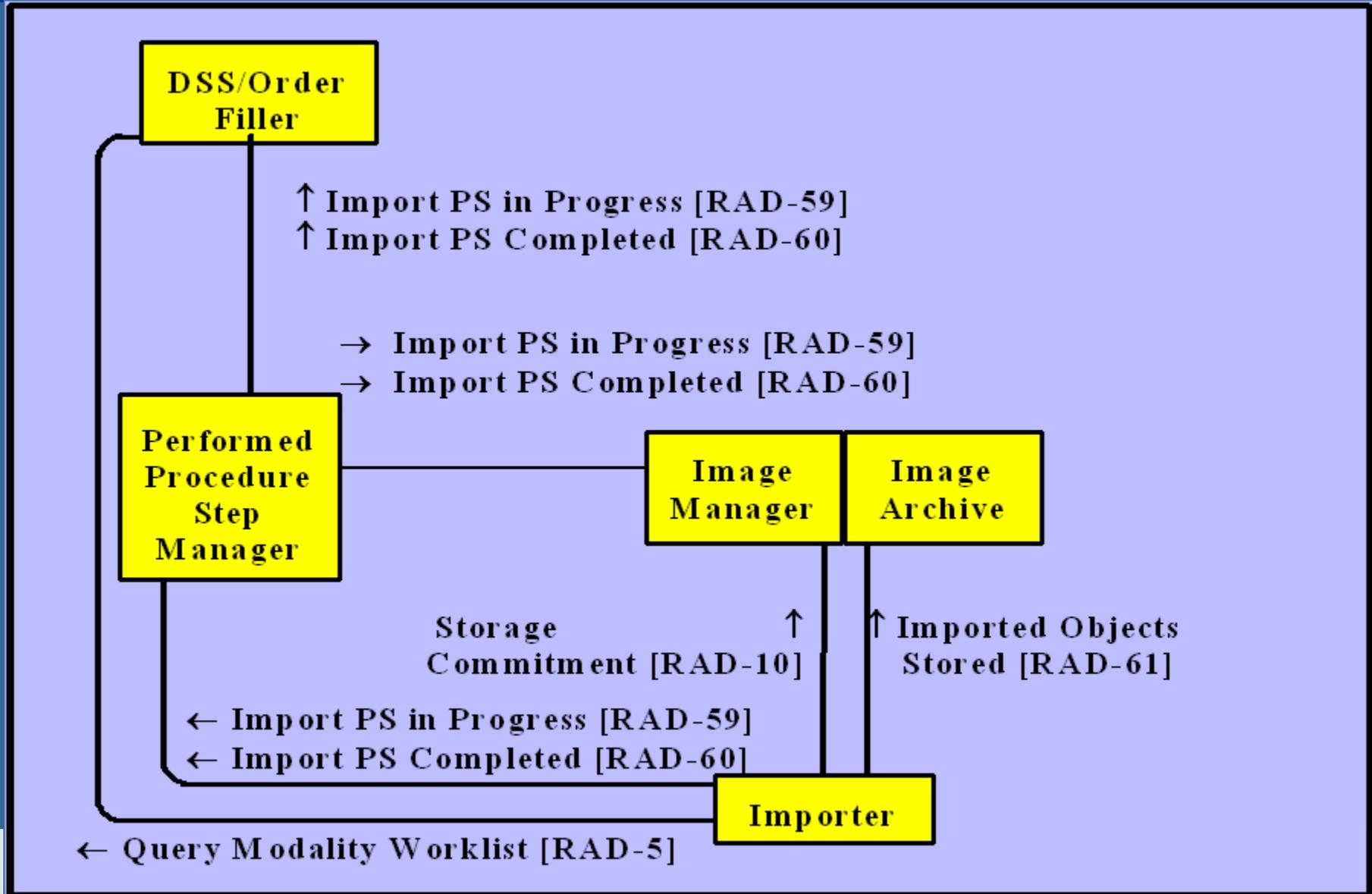


画像をサーバへ転送する

- 保存確認
- 実施入力

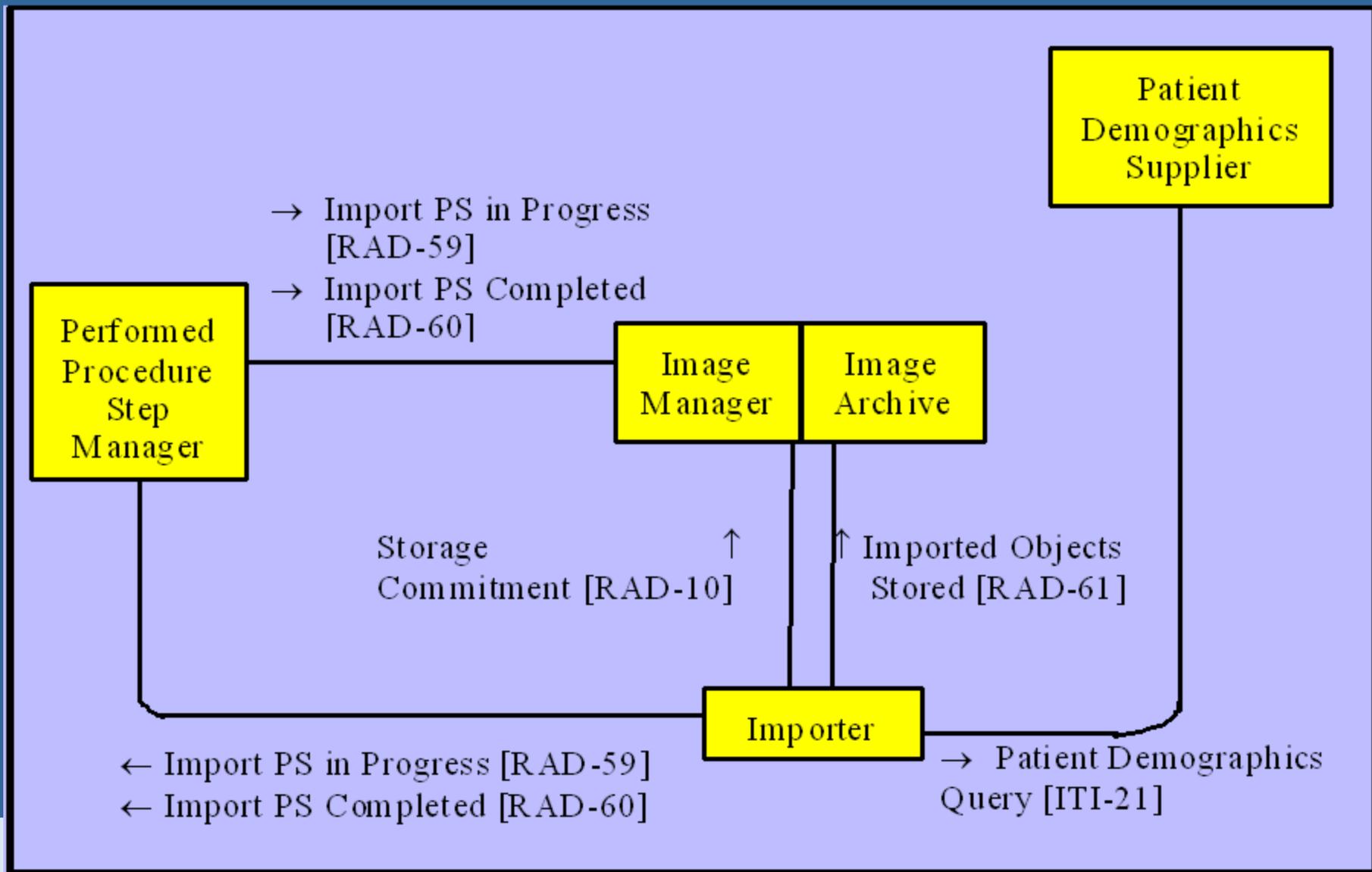
# Import Reconciliation Workflow

## Scheduled Import Transaction Diagram



# Import Reconciliation Workflow

## Unscheduled Import Transaction Diagram



# 患者基本情報の取得

- ワークリストを使用（標準機能）
  - 予め、読み込みのオーダを発行しておく
- 直接、病院のDBへ患者基本情報を取りに行く（オプション機能）
  - 事前オーダは不要
- 患者情報はすでに登録されていないと  
ならない。

# オリジナル情報の保持

- インポート後に変更されたオリジナル情報は、Original Attribute Sequence に保持される。
  - Original Attribute Sequence は、DICOM規格 ( CP-526 ) に準拠。
  - DICOMオブジェクトがインポートされる度に、新たな Original Attribute Sequence が追加される。
  - ハードコピー(フィルム、紙など)をデジタイズした場合には、オリジナル情報はマニュアルで入力。

# 画像読み込みワークフロー(IRWF)

番号	場所	操作者	操作内容
1	受付	事務員	患者基本情報(氏名、生年月日、性別、カルテ番号など)を登録する。
2	放射線科受付	放射線科事務員	持ち込んだCDを読み込み、 <b>患者氏名で検索し、当院の患者IDを自動的に入力してIDを変更し、モダリティーをOTとして、PACSサーバへ転送する。患者の旧IDや画像検査を行った施設の記録は保持される。</b>
3	診察室	医師	PACSに保存されている画像を選択し、DICOM Viewerに表示して、診療を行う。

# インポート履歴の保持

- インポートの履歴を残すために、Contributing Equipment Sequence に以下の情報がセットされる。
  - 使用機器の種類
  - 使用機器の製造業者
  - 使用機器の所在する施設名
  - 使用機器の識別名(ユーザ定義)
  - インポートを実施した日時

# 持ち込みCD・ファイルムの運用

- 外来診察前にPACSに取り込みを行う



① 病院受付で受け取る

② 放射線診断部門に送る

③ 部門受付で読み込み、  
PACSへ転送を行う

# IRWF の導入

## ● Unscheduled Import Optionを導入

- 理由: オーダ入力担当者がいないため



医事会計  
システム

PIR/PAM



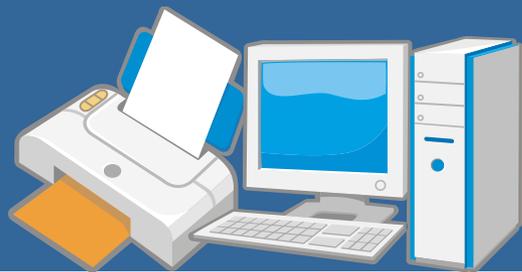
患者情報  
Patient  
Demographics  
Query  
[ITI-21]



患者マスタ

新設

Patient  
Demographic  
Supplier



Importer



Imported Objects  
Stored  
[RAD-61]



Image  
Archive



# オリジナル情報の記録

Tag	VR	Length	Name	Data
0018 a001	SQ	-1	Contributing Equipment Sequence	Sequence
ffe e000		-1	Item	
0008 0070	LO	18	Manufacturer	Array Corporation
0008 0080	LO	44	Institution Name	National Institute of Radiological Sciences
0008 1010	SH	10	Station Name	AOCStation
0018 a002	UN	22	Contribution DateTime	<unknown data>
0040 a170	SQ	-1	Purpose of Reference Code Sequ...	Sequence
ffe e000		-1	Item	
0008 0100	SH	6	Code Value	MEDIM
0008 0102	SH	4	Coding Scheme Designator	DCM
0008 0104	LO	34	Code Meaning	Portable Media Importer Equipment
ffe e00d		0	Item Delimitation Item	
ffe e0dd		0	Sequence Delimitation Item	
ffe e00d		0	Item Delimitation Item	
ffe e0dd		0	Sequence Delimitation Item	

オリジナル情報、取り込み履歴がDICOMタグに記録される

取り込み履歴

Tag	VR	Length	Name	Data
0040 0275	SQ	-1	Request Attributes Sequence	Sequence
ffe e000		-1	Item	
0040 1001	SH	14	Requested Procedure ID	1124822166500
ffe e00d		0	Item Delimitation Item	
ffe e0dd		0	Sequence Delimitation Item	
0400 0561	SQ	-1		Sequence
ffe e000		-1	Item	
0400 0550	SQ	-1	Modified Attributes Sequence	Sequence
ffe e000		-1	Item	
0008 0050	SH	16	Accession Number	20090709090531
0008 0060	CS	2	Modality	CT
0008 1030	LO	0	Study Description	
0010 0010	PN	14	Patient Name	
0010 0020	LO	10	Patient ID	00001992
0020 0010	SH	6	Study ID	12352
ffe e00d		0	Item Delimitation Item	
ffe e0dd		0	Sequence Delimitation Item	

紹介元の受付番号

紹介元の患者ID

# 運用面の整備

患者に渡す医用画像CDに  
ついての合意事項



# 患者に渡す医用画像媒体について の合意事項 (2010年10月)

- 医用画像情報を含んだ媒体(CD-Rを指す。以下、CD-R)を患者に渡す場合、臨床現場での混乱を未然に防ぐため、以下の事項を合意し、これを各会員に周知するものとする。
- (対象) 患者の手を経て、他の医療施設等に医用画像情報の入ったCD-Rを提供する場合。但し、特定の医療施設等と事前協議に基づき提供するCD-Rなど、受け取り手側がその内容について承知している場合は、本合意事項の対象としない。なお、患者が希望した場合でも、受け取り側医療施設等と事前の合意が無い場合は、本合意を適用する。
  - 日本医学放射線学会(JRS)、日本放射線技術学会(JSRT)、日本医療情報学会(JAMI)
  - 日本画像医療システム工業会(JIRA)、保健福祉医療情報システム工業会(JAHIS)
  - 日本IHE協会、日本放射線技師会 (以上7団体)

# 合意事項-1 PDI

- 1. IHEのPDI (Portable Data for Imaging)統合プロファイル準拠であること
  - Viewerなどアプリケーション・ソフトウェアのオートスタートは禁止とする。
  - 画像情報は圧縮しない(PDIではDICOMで許可された圧縮も禁止している)。

# 合意事項-2 DICOM

- 2. DICOMタグの内容(値)については、DICOM規格に違反しないこと

# 合意事項-3 運用

- 3. 運用面の対応は以下を遵守すること
  - 1枚のCD-Rに記録するのは、1患者とする。
  - 事前合意のないThin Sliceデータやボリュームデータ等の大量画像を記録保存しないこと。
  - 事前合意のない動画像についても禁止とする。
  - 患者氏名、提供元医療機関名及び問い合わせ先などをCD-R表面に記載すること。
  - Viewerアプリケーションが同梱されている場合は、その製作者と問い合わせ先も記載すること。

# 合意事項-4 表示環境

- 4. 持ち込まれた画像情報の診断は、受け取り側で用いられているPACSなどのViewerアプリケーションなどを可能な限り用い、適切な参照環境下で行うこと。
  - 画像を自施設のPACSに取り込むことで、使い慣れたViewerアプリケーションが利用可能となり、医療安全の面からも望ましいと考えられる。
  - 反対に、CD-Rに同梱された不慣れなViewerアプリケーションを用いて、異なる操作・異なる環境下で画像参照を行うことは、医療安全の面からも避けること。

# 合意事項-5 添付ファイル

- 5. SS-MIXあるいはIHE PDIで示されているファイル(DICOMDIR, DICOM画像、HL7ファイルなど)以外のファイルを保存する場合
  - 対象: PDF、JPEG、テキスト、表計算などのファイル
  - 同一CD-Rに入れる場合は、Other files/foldersに保存
  - ディスク面あるいはREADME.TXTに添付ファイルの所在を明記

# SS-MIX

- 平成18年度、医療情報の交換・共有による医療の質の向上を目的とした「厚生労働省電子的情報交換推進事業」(SS-MIX: Standardized Structured Medical Information eXchange) が開始された。
- SS-MIXは、記録された医療情報の電子化・標準化に向けた啓発活動の一環として、パッケージウェアの普及をめざし、以下の事業を行っている。
  - パッケージウェアの開発
  - ドキュメントの整備
  - 各ベンダによる同一の規格を実装したシステムの開発と普及

# 患者に渡す医用画像媒体について の合意事項 解説

- CD-Rの作成側医療機関では、受け取り側医療機関が性能の高くない端末でそれを開く可能性があることを想定し、常に配慮をもってCD-Rの作成を行う必要がある。
- もちろん、事前に相互承認を得た特定の受け渡し相手に対し、PACSへの取り込みやワークステーションでの三次元再処理を前提として、シリーズ内の画像枚数が数千枚に及ぶ情報を受け渡す場合（例えば、整形外科医との事前協議に基づき、3D構築のために必要なThin Slice画像を受け渡す場合）や、利用する医師の指示に基づき直接作成されるCD-Rなどについては、本合意事項の対象としない。本合意事項は、あくまで事前合意形成がなされない受け渡しケースにおいて、受け取り側医療施設の混乱を避けることを目的に作成されている。
- 特に、動画像については、受け取り側医療機関に設置された端末の性能や環境により、開けない・見かけ上フリーズする等の問題等が高い確立で懸念されるため、事前合意がない場合の同梱は、行わないことを前提とする。

# 患者に渡す医用画像媒体について の合意事項 解説-2

- 現在、IHEのPDI統合プロフィールに基づく可搬媒体の作成は、厚生労働省標準規格として定められており、本合意も、PDI統合プロフィールに準拠した作成のみを認めるものとする。
- なお、DICOM規格Part10のMedia Storageに準拠していれば、DICOMDIRとDICOM画像との配置関係が、PDI統合プロフィール同じとなるため同様に扱える。ただし、DICOM規格に認められた圧縮フォーマットでも、受け取り側医療機関におけるサーバやViewerが対応していないと、結果的に開けない可能性があるため、圧縮は禁止とする。
- 一般的に病院情報端末はオートスタートや、ブラウザのインストールが禁止されている例が多く、これら設定を施したCD-Rを流通させるべきでない。なお、Viewerアプリケーション・ソフトウェアの同梱自体は問題ないが、PDIとして所定の位置、つまりOther files/foldersの位置にブラウザをおく必要がある。この場合、起動方法およびViewerアプリケーション・ソフトウェアなどの操作方法を明記したファイルもしくは説明書を同梱することが望ましい。

# 患者に渡す医用画像媒体について の合意事項 解説-3

- DICOMタグの内容(値)については、DICOM規格に準拠し違反しないこと
- 厳密には、DICOMのコンFORMANCE宣言書に記載された内容を確認することで、その適合性は判断されるべきである。ただし、詳細な事項については、今後の調査に委ねる。

# 患者に渡す医用画像媒体について の合意事項 解説-4

- 1枚のCD-Rに複数の患者の情報が保存されていると、情報の混同が生じる危険性があるため避ける必要がある。ただし、同一患者でも複数の患者IDを持つことがあるため注意が必要である。
- 対象患者の病歴中に存在する、「全ての検査画像」など、大量の情報を1枚のCD-Rに書き込む様な処置は作成側において避けなくてはならない。受け取り側では、読み込みに貴重な時間を費やした上、いったいどれがキーとなるスタディか即時に判断できないこととなり、診療遅延などの障害を招く恐れが懸念される。この対応として、作成側における、「キースタディおよびキーシリーズを選んで入れる」等の配慮が有効である。(数百枚を効率的に参照するWS機能がない病院端末も多数存在するという現状を認識すべきである)。特に診療所などに送付する場合には、先方のシステムが十分な検索・表示機能を持たない場合を想定し、数枚のキー画像のみを連携することが望ましい。
- また、動画像については、復元化処理の違いや端末の性能により、データ自体が開けない、開くのに膨大な時間を要する等の状況が起きやすく、見た目から端末がフリーズしたと判断された場合、再起動によりそれまでの診療記録に影響を及ぼすなど、その問題が軽視できないため、合意のない動画の同梱は避けるべきである。
- レーベル印刷のないCD-Rは、一見して内容の判別が困難で、取り違えや混同などが起こりやすい上、受け取り側医療施設で、何が記録されているのか全く判別出来ないなど、取り扱いに関し医療安全にも関わる問題が懸念される。また、連絡先の記載が無い場合、受け取り側での疑義紹介が煩雑となり、診療が滞る等の弊害が生じてしまう。当然、レーベル記載がないCD-Rに格納されている情報自体に関する信頼性や保証についても、疑わしいと判断せざるを得ない場合が想定される。

# 患者に渡す医用画像媒体について の合意事項 解説-5

- 持ち込まれた画像情報の診断は、可能な限り使い慣れたViewerアプリケーション等を用い、適切な参照環境下で行うこと
- 画像を参照する都度、異なるViewerアプリケーション・ソフトウェアを用いることは、操作の不慣れなどから所見を見落とすなどの危険性が増すと考えられており、可能な限り、普段利用している自施設のPACSに取り込んでから診断を行うことが望ましい。
- ただし、運用上の制約などにより、やむを得ずPACSに取り込めない場合においても、同様の理由から画像参照に用いるViewerアプリケーション・ソフトウェアは、可能な限り通常使い慣れているものを用いることが望ましい。
- ただし、全ての場合において、画像参照に適したモニタ性能に配慮すること。
- なお、厚生労働省標準的医療情報交換推進事業(SS-MIX)アーカイブビューアの改訂版を無償提供することを予定している。

# 患者に渡す医用画像媒体について の合意事項 解説-6

- CD-Rに情報を書き出す際、DICOM階層上のスタディおよびシリーズをまとめて取り扱える性能をもった書き出し装置(機器)を用意することが望ましい。これにより、DICOMDIRで管理する情報精度が向上し、検索時の操作が容易となる。
- また、PDIに準拠しCD-Rを作成した後で、他の情報を追記することは避けることが望ましい。追記した情報が保存されていることが、DICOMDIRに書き込まれないなどの理由から、受け取り側の医療機関で、追記情報の存在を認識出来ない場合が考えられるためである。
- 本合意事項の対象外ではあるが、双方の医療機関の合意のもと大量の画像を送付する場合、媒体としてDVD-Rを選択する場合があるが、この場合においてもデータ構造はPDIを踏襲すること。

# 問題点の解決

- DICOM以外の画像(JPEG)→PDI
- DICOMの不正なタグ→DICOM
- DVDによる膨大な画像(1,000枚以上)→合意事項
- 患者IDの誤入力→IRWF
- 読み取りに時間がかかり、診察に間に合わない  
→合意事項
- CDによる連携を拒否する医療機関
- 自病院の画像を取り込んでしまう→IRWF

# フィルムレスの運用を前提として システムの購入するときに

## ● 他院からの画像をどのように取り込むか

- Film入力(フィルムデジタイザー)
- CDによる連携(取り込み・画像表示)
- ネットワークによる取り込み

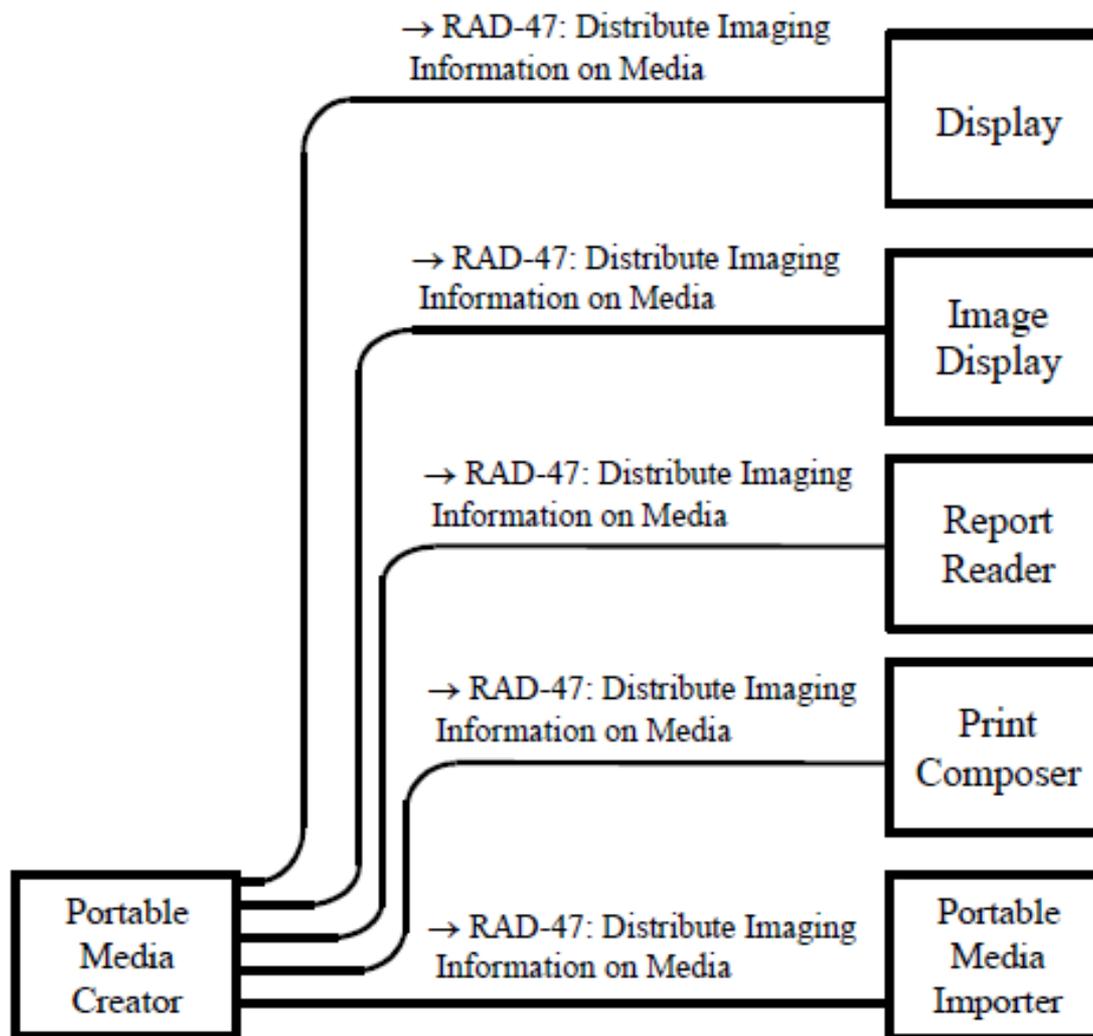
PDI

## ● 外部へ画像をどのように出力するか

- Film出力
- CD出力
- ネットワークによる画像転送

PDI

# PDIの機能



# 仕様書の留意点

- CDに画像をIHEのPDIに準拠して出力できること。
  - 対象メディア: CD, DVD、USB Media
  - Viewerの附属: Basic Viewer (メディアに同梱)
  - Web Content: ウェブブラウザで表示できる情報の生成
  - Privacy Protection: 暗号化 ( **Password Based Encryption** : PBE, public keys: PKI)
  - Sending Software: 暗号の解凍、圧縮の解凍やフォーマット変換、およびサーバやワークステーションへの転送ソフトウェア
  - Portable Media Importer: ID番号修正の方法 (IRWF)
- Image Display, Report Reader, Display or Print Composer の機能

# 仕様書の留意点 (IRWF)

- 取り込もうとする画像の患者IDは、すでに病院情報システムに登録されていないといけない。
- 読み取り装置は、以下の2つのオプションのうち、最低一方をサポートしなければならない。
  - オーダしてからの取り込み(標準): Scheduled Import
  - オーダなしでの取り込み: Unscheduled Import
- オーダなしで、画像取り込みをする場合は、
  - 患者IDマスターを管理するしくみが必要。患者IDマスターへ患者情報を問い合わせ、必要な患者情報を取り寄せる。

# まとめ

- フィルムレスの運用を検討する。フィルムの取り扱いをどうするか？
- 施設間画像連携に際して、送り先の施設の状況を考えて、画像を厳選して記録。Thin Sliceや動画像は記録しない。
- 媒体は、CD以外にもDVDやUSBもPDIとして利用できる。
- 仕様書に、IHE-PDIやIHE-IRWFの記載をすれば、仕様の記載が楽になる。Option項目をどうするか、運用を考慮して決定する必要がある。

# DICOMやIHEに関する トラブルの収集



社団法人  
日本医学放射線学会

検索

Japan Radiological Society

▶ ホーム

学会案内

▶ 概要

▶ 定款等

▶ 組織・役員

▶ 事務局・連絡先

▶ 行事 Schedule Calendar

市民の皆様へ

▶ 医療における放射線被曝

▶ 放射線科の紹介

▶ 放射線・原子力関連情報

▶ 放射線医学の歴史

医学生・若手医師へ

▶ 若手医師・学生の皆様へ

▶ 放射線科の業務

安全に関する情報

- [造影剤投与前診表における質問項目と推奨度について](#)
- [DICOMやIHEに関するトラブルの収集について](#)
- [ピクサー（代表糖尿病患者、併用注意）](#)
- [米国FDA 要旨 - ガドリニウム含有造影剤と腎性全身性線維症 ...](#)
- [「インビストR注240 / インビストR注300」自主回収ならびに製 ...](#)
- [【症例報告】ガドリニウム製剤投与後に発症したNephrogenic sy ...](#)
- [【安全情報】ガドリニウム含有造影剤とNephrogenic Systemic Fibro ...](#)
- [造影剤血管内投与のリスクマネジメント\(2006年3月\)](#)
- [“診断用X線による発がんリスク”の論文に関するコメント ...](#)
- [放射線診療事故防止のための指針 Ver.4](#)
- [IVRIに伴う患者および術者の被ばくに関する警告\(1995年3月22日 ...](#)
- [インシデント・アクシデント事例](#)

[このページのトップへ戻る](#)

▶ 会員のみなさまへ

▶ What's New

▶ 会員向けの情報

▶ 学会からの情報・ガイドラ

▶ [安全に関する情報](#)

▶ 会報・会告

▶ 学会誌・出版物

▶ 学術大会(春・秋)

▶ 地方会案内

▶ 関連学会集会

▶ 利益相反

▶ 専門医制度

▶ 医学物理士制度

▶ 放射線画像集とティーチン  
グファイルリンク

▶ リンク集

▶ 電子放射線診療用語集

▶ 会員専用ページへ

会員情報の確認・修正・退  
会はこちらから



# DICOMやIHEに関するトラブルの 収集について

- システム間や装置間でのデータがうまく転送できない、データの読み込みができない、あるいは正しく表示できないなどの事象が起こっている。
- このような場合に、その原因と対応策をユーザー間で共有し、解決のためのノウハウを蓄積することが重要。
- 放射線学会員の施設でこのようなトラブルが発生した場合、その事例を収集し、JIRA(日本医用画像システム工業会)と協力して、その原因と解決策の検討を行う。
- 送付先メールアドレス: [info-densi@radiology-sys.jp](mailto:info-densi@radiology-sys.jp)
- <http://www.radiology.jp/modules/news/article.php?storyid=869>
- 医学放射線学会 電子情報委員会

# PDIチェックツール

- CD媒体でデータがうまく記録できない、あるいは、うまく読み込めないときに、その原因を調べるソフトウェア。
- PDI準拠のチェック、DICOMタグのチェックなどを行う。
- 日本IHE協会が、2011年春～夏に開発。医療機関の希望者へ有償で配布予定。



**END**

# Questions ?



このスライドを最後に  
入れて下さい。

[WWW.IHE-J.ORG](http://WWW.IHE-J.ORG)